

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と考察

令和5年12月4日
東御市教育委員会

令和5年4月18日に実施されました全国学力学習調査の東御市小中学校の結果の概要について報告いたします。

☆ 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導や学習状況の改善・充実等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

I 児童生徒に対する調査

1 教科に関する調査

教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）次の①，②を一体的に出題

- ①身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

2 調査分類・区分

小学校	国語	算数
分類	区分	区分
学習指導要領の内容等	知識及び技能 ☆言葉の特徴や使い方に関する事項 ☆情報の扱い方に関する事項 ☆我が国の言語文化に関する事項 <u>思考力、判断力、表現力等</u> ☆話すこと・聞くこと ☆書くこと ☆読むこと	☆数と計算 ☆図形 ☆測定 ☆変化と関係 ☆データの活用
評価の観点	☆知識・技能 ☆思考・判断・表現 ☆主体的に学習に取り組む態度	☆知識・技能 ☆思考・判断・表現 ☆主体的に学習に取り組む態度
問題形式	☆選択式 ☆短答式 ☆記述式	☆選択式 ☆短答式 ☆記述式

中学校	国語	数学	英語
分類	区分	区分	区分
学習指導要領の領域等	<u>知識及び技能</u> ☆言葉の特徴や使い方に関する事項 ☆情報の扱い方に関する事項 ☆我が国の言語文化に関する事項 <u>思考力、判断力、表現力等</u> ☆話すこと・聞くこと ☆書くこと ☆読むこと	☆数と式 ☆図形 ☆関数 ☆データの活用	☆聞くこと ☆読むこと ☆話すこと〔やりとり〕 ☆話すこと〔発表〕 ☆書くこと
評価の観点	☆知識・技能 ☆思考・判断・表現 ☆主体的に学習に取り組む態度	☆知識・技能 ☆思考・判断・表現 ☆主体的に学習に取り組む態度	☆知識・技能 ☆思考・判断・表現 ☆主体的に学習に取り組む態度
問題形式	☆選択式 ☆短答式 ☆記述式	☆選択式 ☆短答式 ☆記述式	☆選択式 ☆短答式/口述式 ☆記述式/口述式

II 児童生徒を対象にした質問紙調査

1 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

主な調査項目は

- ・挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等
- ・地域や社会に関わる活動の状況等
- ・ICTを活用した学習状況
- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
- ・学習に対する興味・関心や授業の理解度等

結果

1 概要

○東御市における科目別平均正答率について

- ・小学校の結果は、国語、算数ともに全国平均やや低い結果であった。
- ・中学校の結果は、国語は全国平均とほぼ同等であった。数学、英語は全国平均よりやや低い結果であった。

2 小学校 教科別考察

(1) 小学校国語

学習指導要領の内容別にみると「知識及び技能」(話すこと・聞くこと)(書くこと)(読むこと)などの「思考力、判断力、表現力等」の内容からみると「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける」問題、「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」問題、「日常使われる敬語の理解」の問題で正答率が下がっている。

日常の学習での読み取りや学習活動での言葉のやりとりの中で、自分の求める情報を文章や図表などからきちんと把握することや相手との意見交換の中で事実を明確にしていくことなど、留意しつつ指導を行っていきたい。また、言葉の特徴や使い方に関する事項では、熟語と漢字の意味を意識した学習を低学年から行っていく。

敬語の使い方については、日常の会話や文章の中で意識して使わせるようにしていく。

確かな読解、情報の選択、基礎的な事項を確実に理解を重視していく。

(2) 小学校 算数

学習指導要領の領域別では(数と計算)(図形)(測定)(変化と関係)(データの活用)の中で、(変化と関係)(データの活用)で正答率がやや低く、課題がある。特に%で表されている数が基準量にあわせてどれだけになるかを考えることや高さが等しい三角形の面積について、大小を説明する問題で子どもたちの理解が十分でない状況がうかがえる。問題の回答の数値を求めるだけでなく原理を確実に理解しておくことが重要である。これは、他の分野でも言えることであるが、数量の関係性や意味を丁寧に押さえ、説明ができるようにする学習を進めることが重要である。

すでに多くの学校の授業で取り組まれているが、解を求める過程をより重視し、その過程を説明し、話し合う授業を取り入れて行きたい。

3 小学校の児童質問用紙

○概ね満足でき今後も力を入れていきたい項目 ●今後力を入れていきたい項目

- 「朝食を毎日食べているか」「毎日同じくらいの時刻に寝ているか」「同じ時間に起きているか」の質問についていずれも全国平均より高く、睡眠、食事など生活のリズムができてきている子どもが多い。
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」という質問に対して全国平均より高くなっている。思いやりの心を今後も大切に育てていきたい。
- 「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の質問に対して全国平均より高い。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という設問について、認めてくれているとの回答も高くなっており、教師が子どもたちの姿を肯定的に受け止め、支援することを今後も大切にしていきたい。
- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」という質問に対して、そう思う、だいたいそう思うと答えた子どもは全国平均より高く、学習活動において考え合う、ともに探求する学びができていくことが推測される。今後もこうした学びの姿勢を大切に、子どもたちがつくる学びを大切にしていきたい。

- 「今住んでいる地域の行事に積極的に参加している」という回答がは全国平均より非常に高い。また、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の質問へも肯定的な回答が高い。子どもたちを見守り育ててくださる地域との関わりを今後も大事にしていきたい。
- 「読書が好きですか」では、全国平均より高い。図書館利用の回数や読書時間も平均を上回って本に親しむ習慣ができていることがうかがえる。これは、学校での図書館利用教育や定期的な読み聞かせボランティアの活動の取り組みの成果であると考え。今後も子どもたちが本に親しむ働きかけ支援を大切にしていきたい。
- 国語、算数が好きであるかという質問に対して好きであると回答した子どもは国語は、ほぼ全国平均、算数については平均より高い状況である。しかし、英語については、低い傾向にある。英語では、交流授業なども行われ、意欲付けなども積極的に行われているが、さらに日常の授業について、子どもたちが前向きに取り組む英語に親しむ授業づくりを工夫していきたい。
- 「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問では、2時間以上の学習をする児童の割合が全国平均に比べて少ない。家庭学習の手引きなどを生かし、家庭での学習の習慣づけを各自の見返しなどを行いながら、学習の成果の自覚を持てるようにていねいな支援をしていく必要がある。
- 授業でのICT機器の利用、活用については、質問が異なるため、昨年度とは単純に比較できないが、利用の回数については、まだ、全国平均より低い。しかし、日常の活動や授業場面での利用は確実に増えており、先生方の使用の意欲、支援員のサポートなどにより、利用は進んでいる。今後もさまざまな学習活動で使われるように研修、情報交換をしていきたい。

4 中学校の教科別考察

(1) 中学校国語

学習指導要領の内容（情報の扱い方に関する事項）で、意見と根拠など情報と情報との関係を理解する問題でインターネットの記事から内容を把握することに課題があった。また、（思考力、判断力、表現力等）で読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる問題で校正することにも課題があった。日頃から自分の伝えたいことを相手を意識しながら、自分の思いが的確に伝わるように文章を書く活動を学習の中に意識的に入れていく必要がある

(2) 中学校数学

学習指導要領の「数と式」の領域の問題で、 $3(n+2)$ を導き、必ず3の倍数になることを証明する「○○であるから、△△である。」の形で記述する問題で課題があった。他にも記述式の証明問題で課題がうかがえる。日頃から筋道を通して、説明する学習活動を丁寧にしていく必要がある。さらに理解が進んでいる生徒についてもタブレットなどの個別学習を活用しながら、問題をより多く解いていくような配慮を行い、上位層をより多くするような指導もしていきたい。

5 中学校の生徒質問紙

- 概ね満足でき、今後も力を入れていきたい項目 ●今後力を入れていきたい項目
- 朝食を毎日食べているかの質問に非常に高い割合の生徒が「はい」と回答し、好ましい傾向である。決められた時間に起床就寝しているかの質問は、ほぼ全国平均なみであるが、生活のリズムは学習への影響があることからあわせて大切に考え、指導していきたい。
 - 「自分にはよいところがあると思いますか」の質問に、「はい」と回答する割合が全国平均より高い。子どもたちひとりひとりのよさを認めつつ、前向きな学びにつなげていきたい。
 - 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問に対し、肯定的な回答が全国平均より高い。今後も子どもたちのよさに目を向け、教師の日常的なあたたかなかわり、声かけを大切にしていきたい。
 - 新聞を読んでいる生徒の割合が全国平均に比べ、高い。NIEの指定の影響があると考え。新聞をきっかけに、身の回りの問題に関心を持つことを大事にしていきたい。
 - 家庭学習の質問で一日の時間数、休日の時間数3時間以上と答えた割合が昨年に比較して増加して、全国平均とほぼ同じか多くなっている。家庭学習の定着がこれからも進むようにはげまし、支援していきたい。
 - 「家庭で自分で計画を立てて勉強をしていますか」について、全国平均とほぼ同じであるがこれまでより増加している。継続的な指導を行っていきたい。
 - 「読書が好きですか」の設問に好きであると答えた生徒が全国平均より上高い。同じく図書館に週3回以上行っている比率も高く本に親しむ傾向が高い。小学校から読書を大切にしてきた傾向が維持されている。今後も読書活動を
 - 地域行事に関わる生徒が多い。長野県の特質であると考察される地域とともにある学校、地域が子どもを大切にする意識があり、ありがたい。地域とのつながり、連携を重視していきたい。
 - 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」の設問は本年度らの質問であるが、全国平均とほぼ同じであるが、子どもたちの心に寄り添って、継続して見守りたい。
 - ICT機器の活用については、まだ全国平均より少ないが、昨年度に比べてかなり授業で使われることが多くなっている。支援員の活用や校内でも研修会が行われている。今後も学習ツールの一つとして利用を進めたい。
 - 「1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか」の回答の比率は全国平均より低い、また、「1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか」の質問対して当てはまる、どちらかと当てはまると回答した比率は、全国平均と比較して低い。英語の話し方の問題での課題と相関があると考え。英語で伝え合う場面を設定することが求められる。